

生活指導だより

平成26年9月増刊号
練馬区立大泉北中学校

安全について考えよう

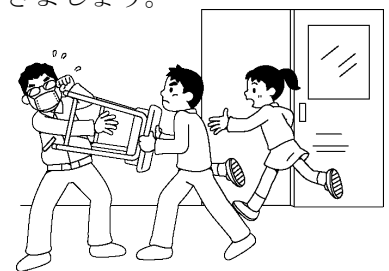
学校生活のリズムも戻り、勉強に部活動にがんばっている姿が多く見られ、充実した中学校生活を送っていることが感じられます。

さて、本校は今年度（平成26年度）、東京都教育庁より安全教育推進校の指定を受け、校内・校外・地域の安全について再点検を進めています。今号は、「安全」に関して考えていくため、9月増刊号として発行します。

身の回りの安全

身の回りの安全について考えると言っても、あれこれと色々なことが思い浮かび、なかなか整理できません。ですので、生活安全・交通安全・災害安全の3つに分けて考えていきましょう。

生活安全とは、登下校時の安全、校内での安全、家庭生活での安全、地域や社会生活での安全をいいます。最近、公園で知らない人からもらったアメや飲み物を食べたら失神してしまったというニュースがありました。また、不審者や露出狂、不審電話などに出遭ってしまった、車に乗せられ連れ去られたなどが具体的なものになります。



交通安全とは、道路の歩行と横断及び交通機関の利用、自転車の安全な利用と点検・整備、二輪車・自動車の特性と心得、交通事故防止と安全な生活をいいます。中学生で多い事故は、やはり自転車の事故です。また、ながらスマホや音楽を聴いていたため、自動車の音が聞こえなかったなども考えていきましょう。



災害安全とは、火災時の安全、地震発生時の安全、火山災害時の安全、気象災害時の安全、原子力災害時の安全、避難所の役割と貢献、災害への備えと安全な生活をいいます。3.11の大震災、それに伴う原発事故からの避難生活、豪雨による土砂災害や浸水被害など、いつ起こるか分からないことですが、もしもの時への備えや訓練が大切です。



秋の交通安全運動週間

9月21日（日）～9月30日（火）が、秋の交通安全運動週間となります。普段から、交通安全について心掛けている人は、自分の行動が社会（特に自分より小さい子どもたち）の手本となるように、交通安全についてあまり考えていなかった人は、この機会によく通る道にある交通標識を見たり、自転車の点検をしたりしてみてください。特に、9月30日（火）は「交通事故死ゼロを目指す日」です。ちょっとした気の緩みが、事故につながります。家族でも話題にして、家族ぐるみで取り組んでみてください。

安全教育推進校発表会

11月13日（木）の午後に安全教育推進校の発表会が本校で行われます。当日の予定は、1時30分より緊急地震速報を利用しての避難訓練、その後、各クラスで「生活安全」に関する授業が行われます。1・2年生のテーマは、「犯罪等の現状を知り、安全な行動の仕方を確認しよう。」で、3年生のテーマは、「地域の犯罪防止活動を知り、自分にできることを考え、実行しよう。」です。保護者の皆様、地域の皆様と学校が連携し、地域の児童・生徒の安全に関して、理解を深めていく良い機会になると考えています。平日ではありますが、多くの皆様に参観をしていただければと思います。

デング熱について

デング熱について、代々木公園での発生以来、日々最新情報が報道されています。練馬区でも教育委員会よりの通知のように取り組んでいます。本校でも、蚊の発生を抑えるなど対策を講じています。蚊について基本的なことを確認しておきましょう。

蚊の生態

蚊のエネルギー源は糖分で、普段は花の蜜などを吸って生活しています。メスだけが産卵のための栄養源として吸血し、人が出す炭酸ガスや皮膚のニオイ・温度を感知することで吸血源を探し求めます。



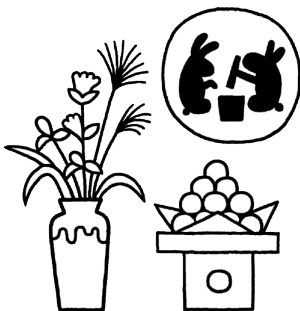
蚊はその種類により吸血する時間が異なり、アカイエカは夕方から夜にかけて、ヒトスジシマカ（通称：ヤブ蚊）は昼から夕方にかけて吸血します。

また、ビルの浄化槽で発生して、オフィスで吸血するのがチカイエカです。地下鉄などで見かける蚊もこのチカイエカで、年中発生します。アカイエカとチカイエカは酷似しているため、見分けることは困難です。アカイエカやヒトスジシマカ（ヤブ蚊）は一般的に見られる蚊です。

蚊は水のあるところに卵を産み付けますが、蚊の種類によって、水のきれいなところを好むもの、汚いところを好むもの、広い場所を好むもの、空き缶や空き瓶などのわずかなたまり水を好むものなど多様です。そのため、幼虫（ボウフラ）の生息場所も、池や下水溝、浄化槽、水田、古タイヤ、墓地の花立、空き缶など様々です。ヒトスジシマカは、空き缶に溜まったような少量の水で増殖できます。

＝アース害虫駆除何でも辞典より＝

夏から秋へ



日の入りの時間がずいぶん早くなりました。夏休み中は19時頃まで明るかったのですが、9月23日秋分の日では、17時37分が日の入りとなっています。校庭での部活動では、活動後半には照明を点けて行っています。皆さんの下校の様子はどうでしょうか？ 暗くなると危険度は増します。同じ方面に帰る仲間と、まっすぐに家に帰りましょう。通る道も、近道だけど暗くてあまり人の通らない道、少し遠回りだけど明るく人通りもある道、両極端の例ですが、安全を優先に家族で話し合ってみてください。

☆学校へのご意見などございましたらお願いします。☆（切り取ってご使用ください。）